



Bank of Yokohama

# ***Investor Presentation***

***～ 2013年度 第3四半期決算について ～***

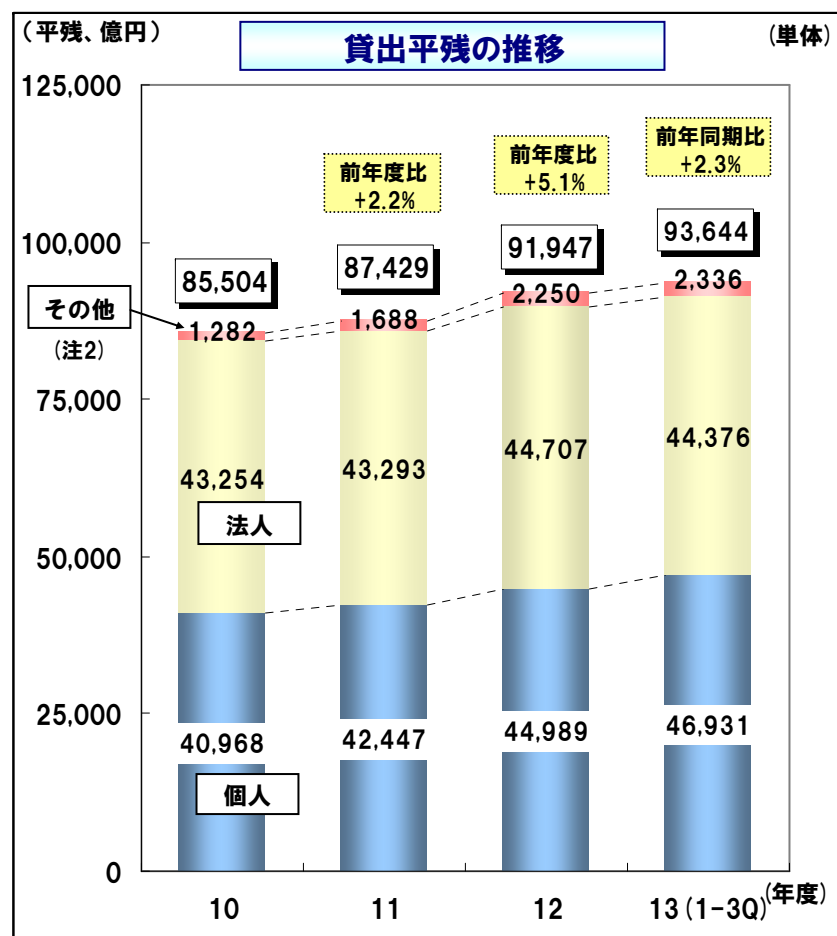
**2014年2月**

**横浜銀行**

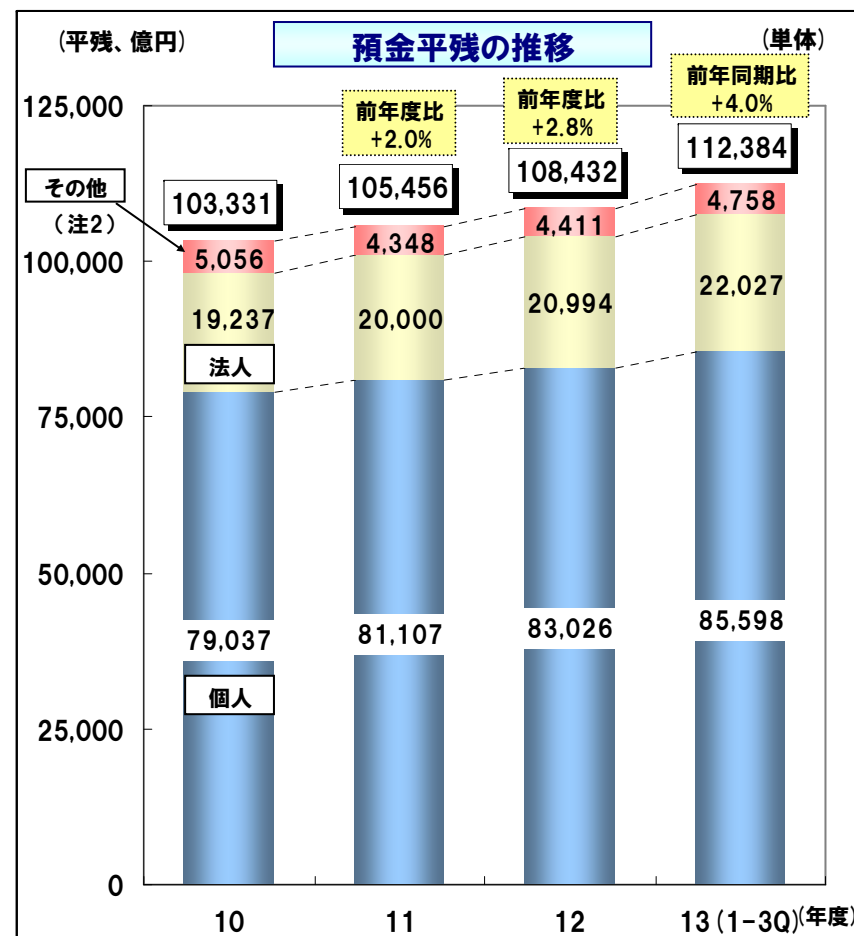
# 1. 営業実績

## (1) 貸出・預金平残の推移

- 13年度第3Q累計の貸出平残は、前年同期比2.3%増加。預金平残は、同4.0%増加。



(注1)国内店分  
(注2)その他:公共+公共関連貸出

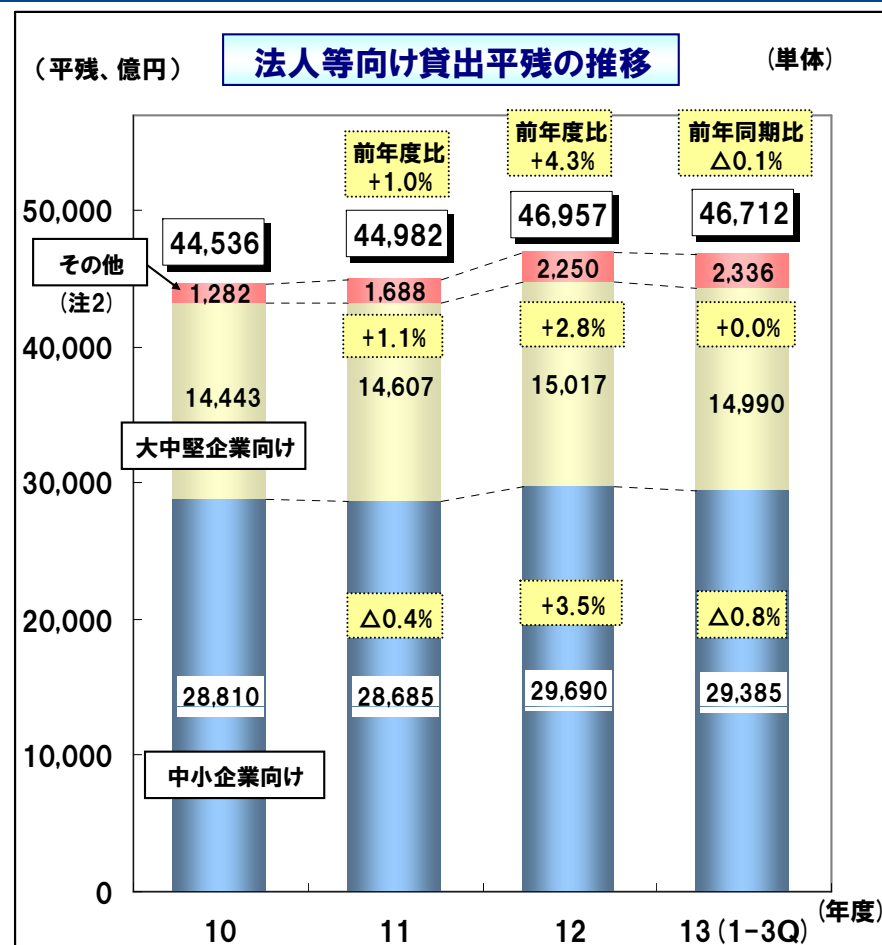
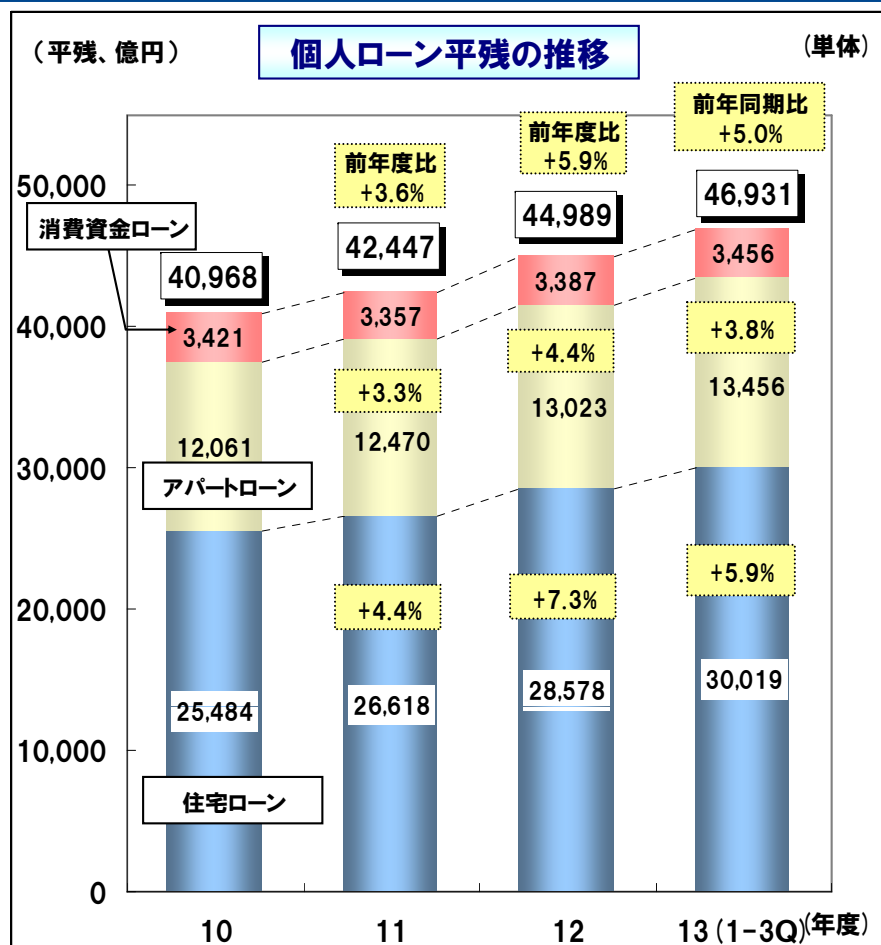


(注1)国内店分  
(注2)その他=公金+金融機関向け預金

# 1. 営業実績

## (2) 貸出平残の推移

- 13年度第3Q累計の個人ローン平残は、住宅ローン(前年同期比+5.9%増)、アパートローン(同3.8%増)の増加を中心に全体で同5.0%増。
- 中小企業向け貸出が減少したこともあり、13年度第3Q累計の法人等向け貸出平残は前年同期比0.1%減。しかしながら、県内生産がゆるやかに増加していることもあり、13年12月末の準公共を除いた中小企業向け貸出末残は前年同期比0.2%増。

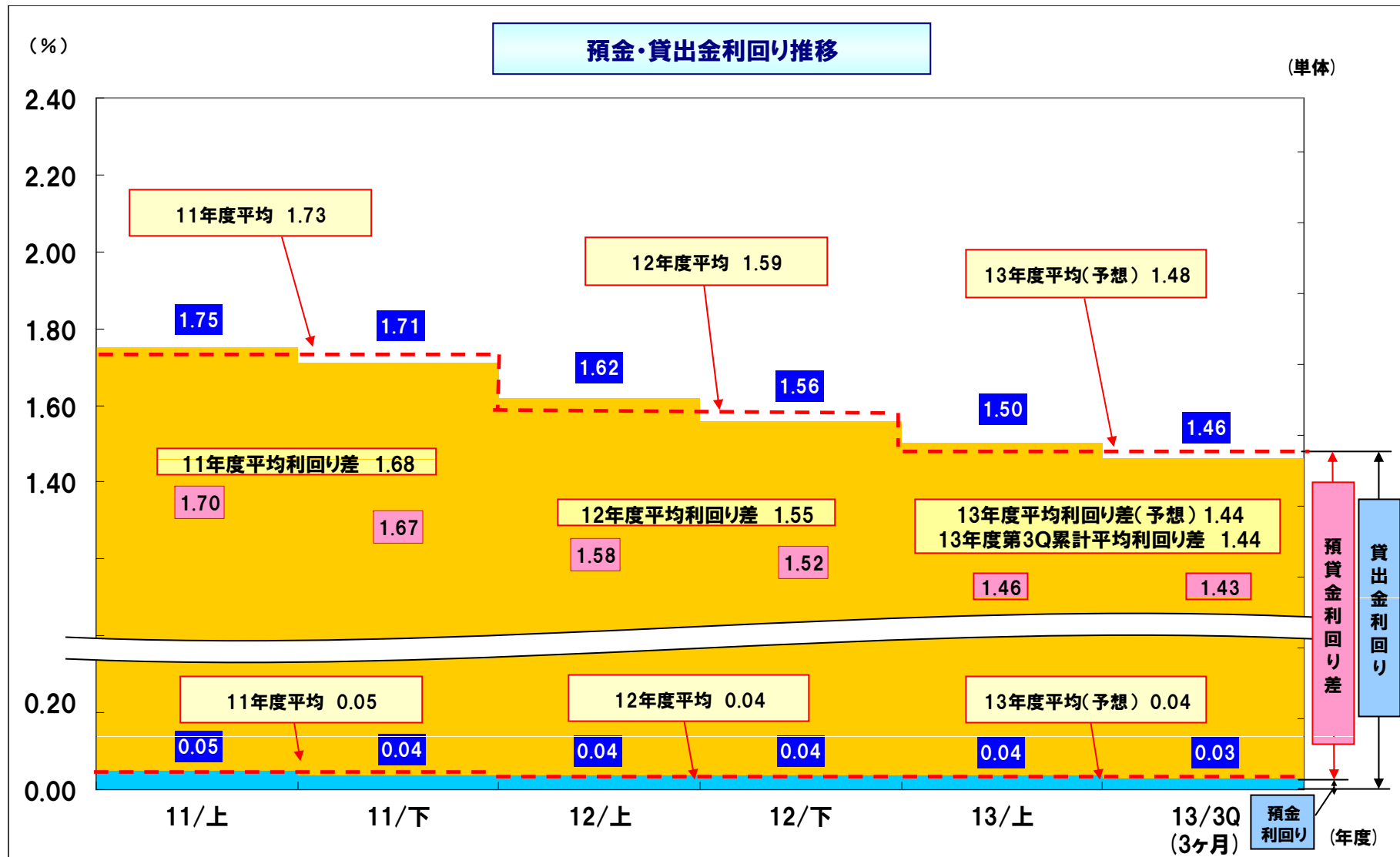


(注1)国内店分  
(注2)その他:公共+公共関連貸出

# 1. 営業実績

## (3) 預金・貸出金利回りの推移(国内業務部門)

- 13年度第3Q(3ヶ月)の貸出金利回りは1.46%とほぼ計画線。



# 1. 営業実績

## (4) 有価証券ポートフォリオ・政策投資株式の状況

- 13年12月末の有価証券は、3月末比739億円減少の21,530億円。
- 政策投資株式については、資本(Tier1)に対する保有株式の割合を12%まで低減。

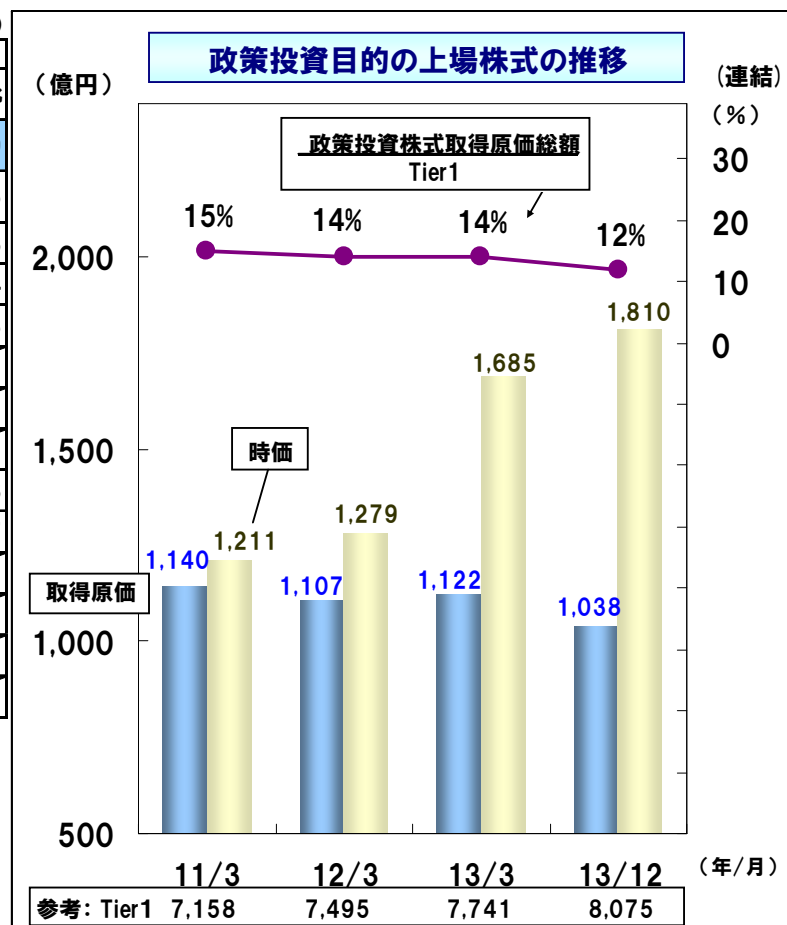
### <有価証券種類別内訳>満期保有目的・その他有価証券の合計(単体)

	(億円)				(億円)	
	12年3月末残高	13年3月末残高	13年12月末残高	13年3月末比	評価損益	13年3月末比
合計	21,222	22,269	21,530	△ 739	1057	+109
債券	19,052	18,483	16,935	△ 1,548	183	△ 105
国債	7,682	8,707	6,840	△ 1,867	64	△ 48
地方債	2,571	2,311	2,371	+60	29	△ 14
社債	8,798	7,463	7,723	+260	89	△ 43
うち政府保証債	4,440	4,331	4,439	+108		
うち金融債	868	512	842	+330		
うち公募事業債	1,500	1,001	808	△ 193		
株式	1,508	1,874	1,993	+119	751	+198
その他	661	1,912	2,601	+689	122	+17
国内投信	286	909	1,108	+199		
外国債券	357	924	1,410	+486		
外国株式	10	10	10	0		
その他	8	67	72	+5		

### <デュレーションの推移>

	12/3	13/3	13/12
円債	2.8年	2.8年	2.4年
外債	1.2年	2.9年	2.4年

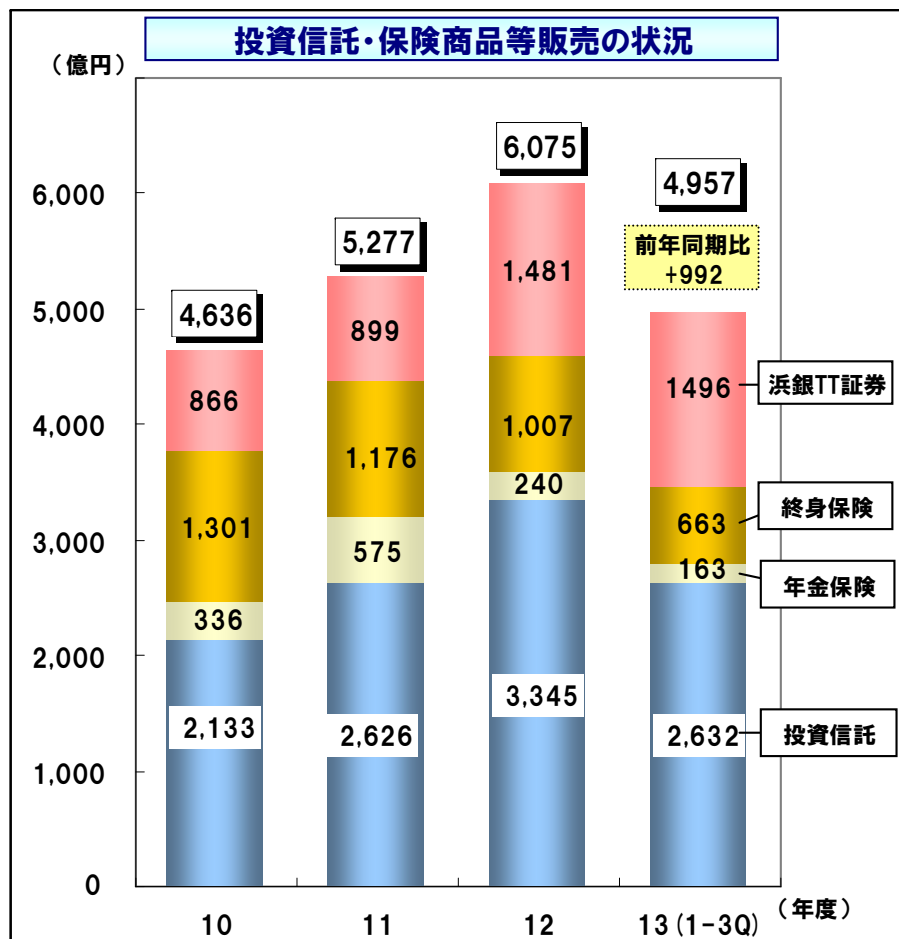
(注)デュレーションは「その他有価証券」が対象。



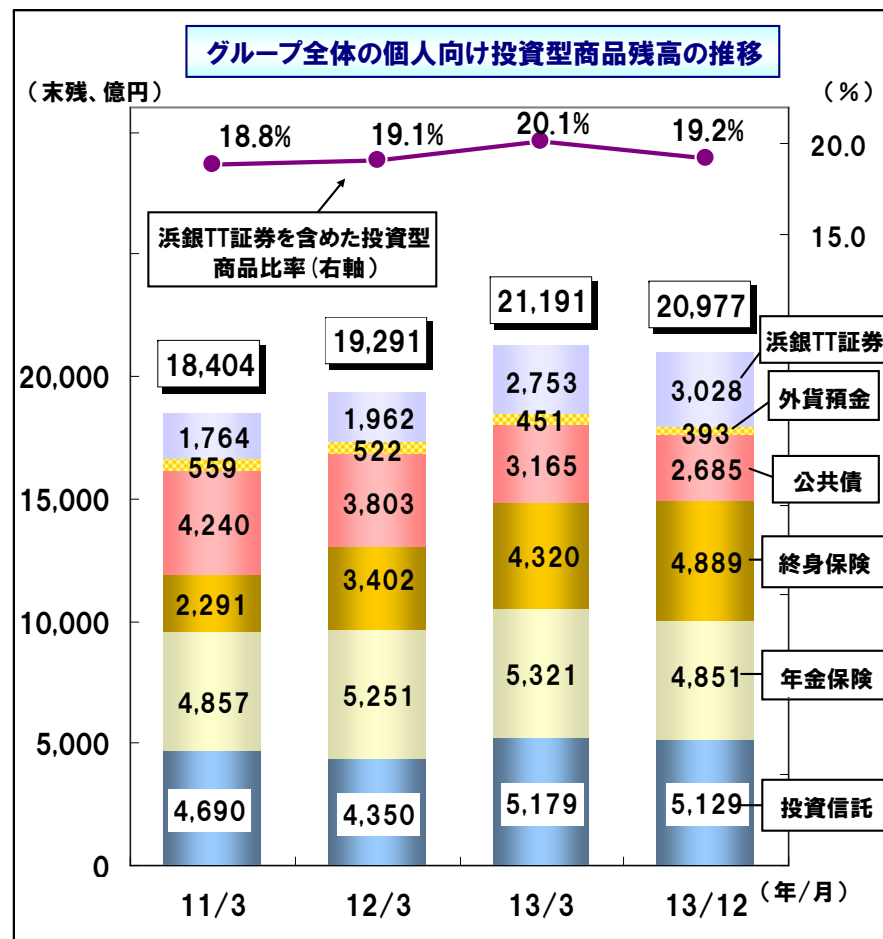
# 1. 営業実績

## (5) 個人向け投資型商品残高の推移

- 13年度第3Q累計のグループ全体の投資信託・保険商品等の販売額（浜銀TT証券含む）は、前年同期比992億円増加の4,957億円。
- 13年12月末のグループ全体の個人向け投資型商品残高（浜銀TT証券含む）は20,977億円。



(注) 浜銀TT証券は、債券、投資信託、外債・仕組債の販売実績



(注1) 浜銀TT証券は株式、債券、投資信託、年金保険、外債・仕組債の残高  
 (注2) 投資型商品比率 = 浜銀TT証券を含む個人投資型商品末残 ÷ (個人円貨預金末残 + 浜銀TT証券を含む個人投資型商品末残)

## 2. 決算概要

### (1) 2013年度第3四半期決算サマリー

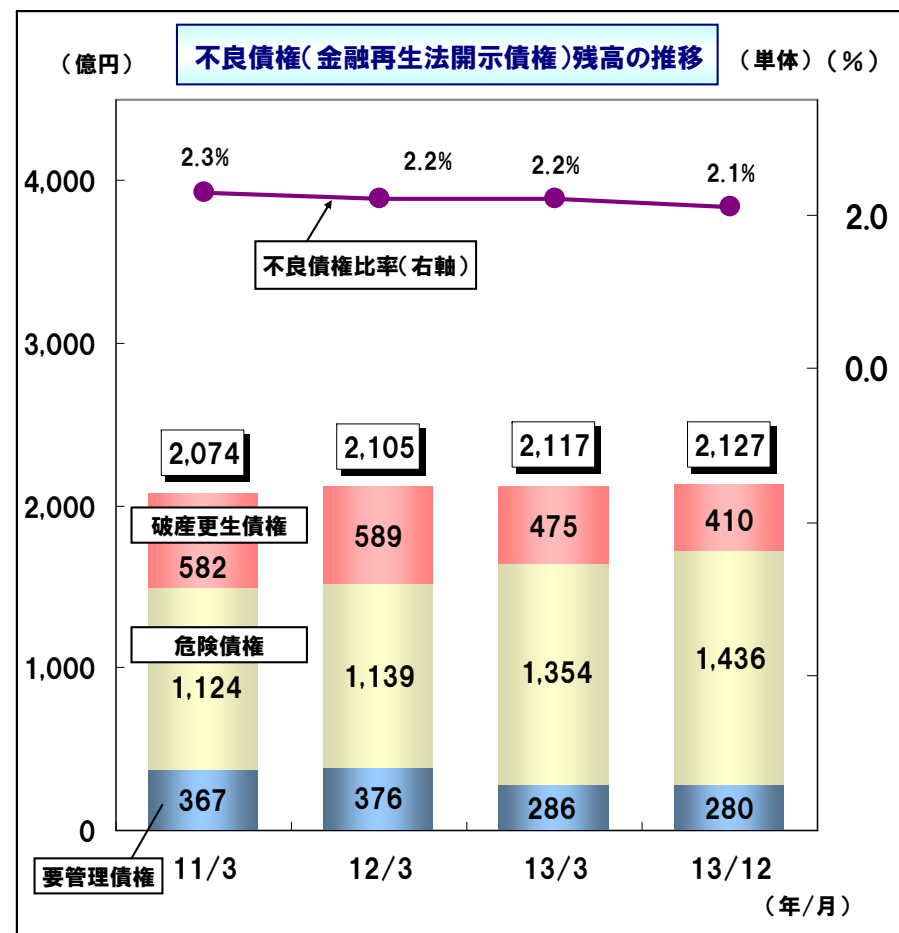
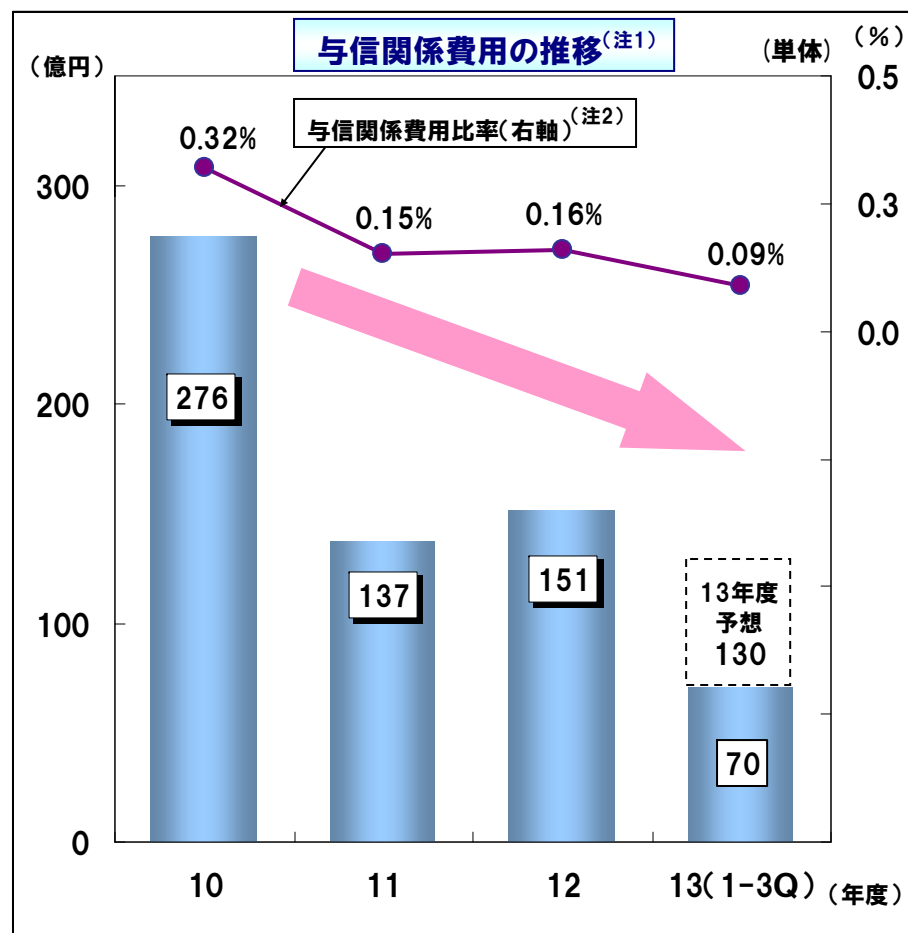
- 13年度第3Q累計の単体四半期純利益は、前年同期比39億円増加の451億円。

<単体>	12年度第3Q累計	13年度第3Q累計		13年度予想 (11月8日公表)
			前年同期比	
業 務 粗 利 益	1,503	1,508	5	2,040
うち国内資金利益	1,212	1,185	△ 27	1,574
うち国内役務取引等利益	209	259	50	375
うち国内その他業務利益	62	42	△ 20	57
経費(除く臨時処理分)(△)	733	731	△ 2	990
(参考) O H R ( % )	48.7%	48.5%	△ 0.2%	-
実 質 業 務 純 益	769	776	7	1,050
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 31	3	34	-
業 務 純 益	801	772	△ 29	-
臨 時 損 益	△ 137	△ 87	50	-
うち不良債権処理額(△)	114	66	△ 48	-
うち株式等関係損益	△ 2	11	13	-
経 常 利 益	664	685	21	875
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	412	451	39	555
与 信 関 係 費 用 ( △ )	83	70	△ 13	130
<連結>				
経 常 利 益	734	746	12	945
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	426	461	35	565

## 2. 決算概要

### (2) 与信関係費用 & 不良債権

- 13年度第3Q累計の与信関係費用は、前年同期比13億円減少の70億円。
- 13年12月末の不良債権比率は、2.1%と引き続き低位安定。



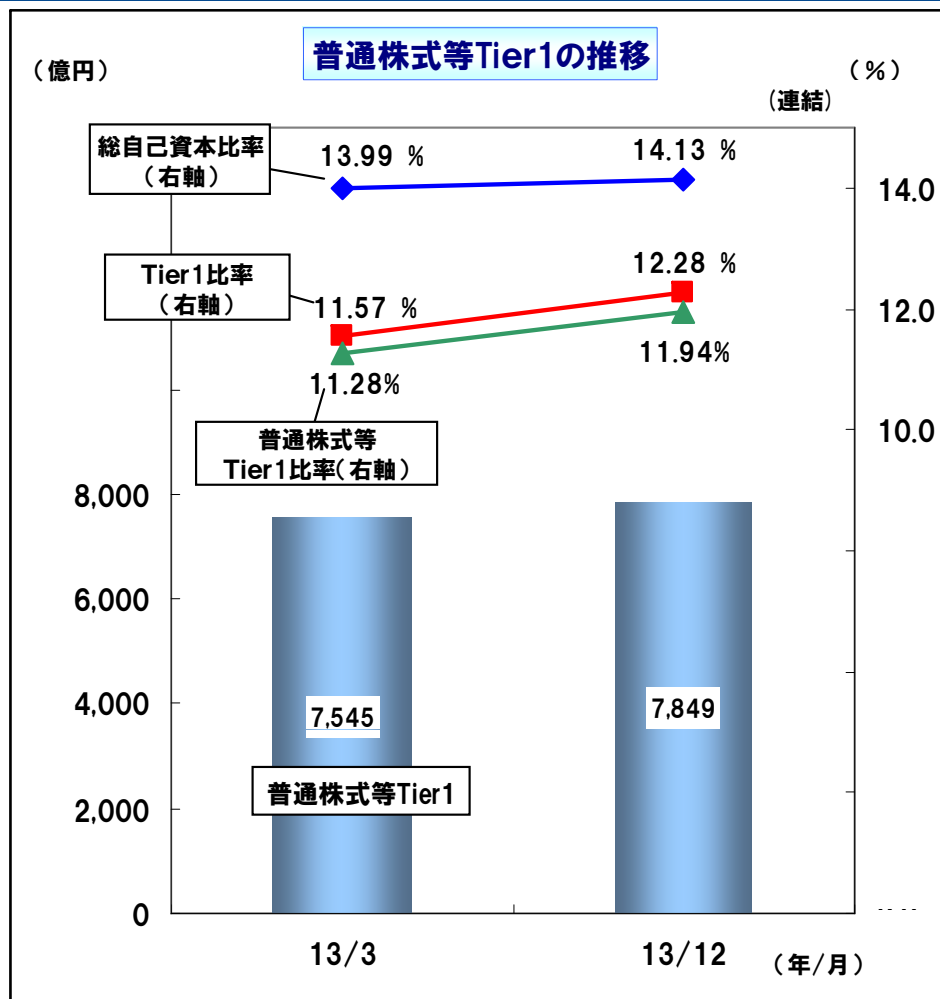
- (注1) 与信関係費用 = 不良債権処理額(-償却債権取立益\*) + 一般貸倒引当金繰入額  
 \*10年度は償却債権取立益を与信関係費用に含めて算出
- (注2) 与信関係費用比率 = 与信関係費用 ÷ 貸出平残  
 なお、13(1-3Q)の値は9ヶ月の実績を年率換算したもの



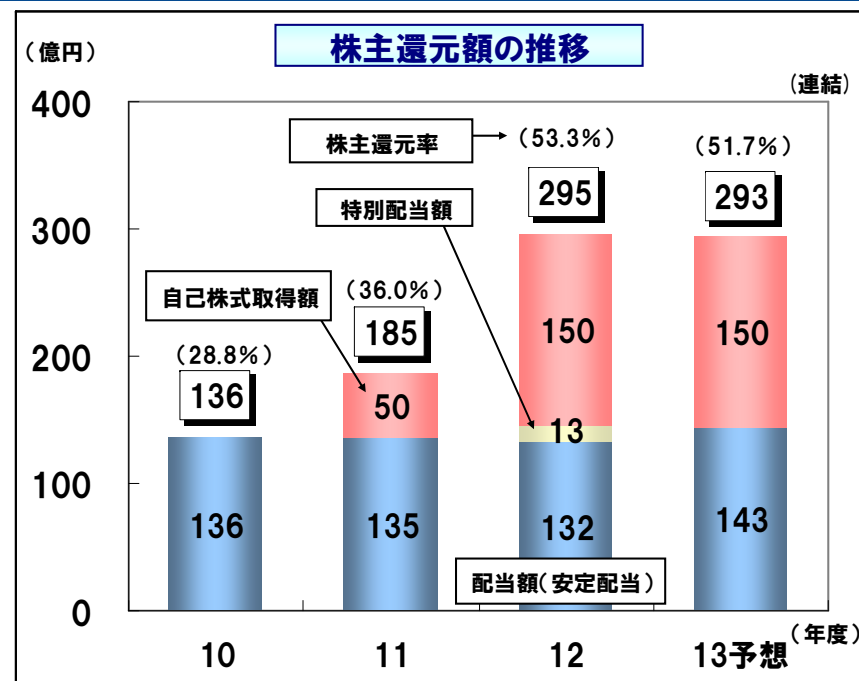
## 2. 決算概要

### (3) 資本・株主還元の様況

- 13年12月末の普通株式等Tier1比率(連結)は**11.94%**と十分な水準を維持。
- 13年度は、合計**150億円**の**自己株式取得**を実施。(2月17日～3月24日取得予定分を含む)
- 13年度の決算を見据え、利益還元方針に沿った**特別配当**を検討。



(注)完全実施ベースの普通株式等Tier1比率(13/12)は、12.50%。



#### 中計期間中の利益還元方針

##### 普通配当

普通配当金として業績にかかわらず**年11円**を安定的にお支払いいたします。

##### 機動的な自己株式取得

市場動向や業績見通しなどを勘案のうえ、機動的に自己株式の取得を実施してまいります。

##### 特別配当

年度の**連結当期純利益が550億円**を上回る場合には、**特別配当**を実施いたします。

Afresh あなたに、あたらしく。



Bank of Yokohama

事前に株式会社横浜銀行の許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。